

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 飛騨家畜保健衛生所整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫推進係 電話番号：058-272-1111(内4156)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 113,332 千円 (前年度予算額： 137,258 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	137,258	0	0	0	0	0	0	98,100	39,158
要求額	113,332	0	0	0	0	0	0	74,400	38,932
決定額	113,332	0	0	0	0	0	0	74,400	38,932

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成30年9月に本県養豚場で国内26年ぶりに豚熱が発生し、以降、農場で続発するとともに、野生いのししでの感染も拡大している。
- ・家畜伝染病の対策では、①発生の予防、②早期の発見及び通報、③迅速かつ的確な初動対応が最も重要であり、地域の防疫拠点たる家保の果たすべき役割は非常に大きい。
- ・飛騨家畜保健衛生所は、令和4年6月に主要施設(本館棟、解剖・焼却棟)を移転完了・運用開始したが、防疫資材については、暫定的に民間倉庫を借上げて対応している。

(2) 事業内容

- ・検査指導の迅速化及び病性鑑定機能の強化を図るため、飛騨家畜保健衛生所を移転・新設し、県の家畜防疫体制を強化する。

(R5事業内容)

- ・倉庫、車庫等建築工事(建築、電気、機械、外構)

<全体整備計画及び全体概算事業費(予定)>

(参考) 第1期工事 (R1～3)	約14.3億円	本館棟、解剖・焼却棟など
		R1 調査設計
		R2～3 建築工事
第2期工事 (R4～5)	約2.5億円	倉庫・車庫棟など
		R4 調査設計
		R5 建築工事
全体 (R1～5)	約16.8億円	

(3) 県負担・補助率の考え方

県：10/10

(家畜保健衛生所法に定められた都道府県の必置施設の整備であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	96,367	建築、設備等工事
工事委託料	2,934	工事監理
備品購入費	9,059	施設備品の購入
消耗品費	714	消耗品の購入
使用料	1,321	倉庫借上げ等
役員費	363	倉庫引越し等
補償費	2,000	電柱移転
その他	574	その他事務費(旅費、燃料費など)
合計	113,332	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略(R1~5)
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - ④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」(R3~7)
 - (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
 - ④ 家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和3年度に飛騨家畜保健衛生所の主要施設（本館棟、解剖・焼却棟など）を整備し、令和5年度までに附属施設（倉庫・車庫棟など）を整備することで、家畜防疫体制の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

家畜保健衛生所整備のための経費であり、目標を定めることは適当ではない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 主要施設（本館棟、解剖・焼却棟など）を令和2年度から工事着手し、令和3年度に工事を完了した。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 同上 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	豚熱等海外悪性伝染病の脅威にさらされる中、防疫資材の保管を暫定的に民間倉庫を借り上げて対応している。適切かつ迅速に対応するためには、県として施設の整備が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	防疫資材拠点を整備することで、海外悪性伝染病発生時に迅速に対応することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	施設を新築するにあたり、必要最小限の規模とするよう検討を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 家畜保健衛生所の施設維持管理
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 家畜保健衛生所の早期整備及び産業動物獣医師の確保対策により、家畜防疫体制の強化を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】